

第 10 回議会報告会 報告書

地 域 名	八鹿地区		
年 月 日	平成 26 年 5 月 19 日 (月)	会 場 名	八鹿公民館 展示室
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 15 分
参 加 数	男 17 人	女 3 人	合 計 20 人
班 長	深澤 巧	司 会 者	深澤 巧
報 告 者	藤原哲郎	書 記	藤原敏憲
班 員 名	深澤 巧、北尾行雄、藤原哲郎、藤原敏憲		
市 民		対 応	
報告に対する質疑	① 万灯の湯の経営について、消費税分の上乗せはないのか。	① 今回の対象は P F I 事業の「道の駅ようか但馬蔵」などである。万灯の湯は指定管理料 0 円である。	
	② 議案 6 号の住宅支援促進の効果はあるのか。年齢制限をなぜ行うのか。	② 人口対策に必要である。前の条例をもとに改正した。	
意見交換会での質疑	① 農業特区のことをよく聞くが、内容が分からない。これからどのようなになるのか。議員がしっかりやって欲しい。国から多額の金が出ると思っている市民が多い。	① 議会への説明はあったが、具体的な計画は決まっていない。様々な意見がある。議会、議員としての役割は果たしていかなければならない。直接の補助金は出ないと聞いている。	
	② 市広報での特区の説明はお粗末。養父市は情報の出し方がよくない。特区のような全国的なことがあったら市民ミーティングのようなことをやっていくべきである。議会はその辺を市に忠告、提案していただきたい。	② 現在、議長から議会改革について諮問を受けている。通年議会も議論している。議会の権能を高めるようにしたい。	
	③ 議会基本条例を制定したが生かされていないように思う。具体的な行動や市民意見の聴取はどのようにしているのか。	③ 基本条例は、議会・議員の基本理念を謳っており、議員それぞれが意識して活動している。市民意見の聴取は適宜行っている。	
	④ C A T V 事業に何億円もかける必要はないのではないか。	④ 市独自での運営は難しい。維持管理は今後民間でやる。平成 26 年度中に業者が決まる。希望する全ての世帯に防災無線は整備する。	
	⑤ やぶパートナーズ(株)の業務は正常か。コンビニ経営は問題ではないのか。	⑤ 様々な意見が議会でも出ている。監査委員も、設立目的に沿って運営するよう求めている。	

	⑥ 氷ノ山スキー場の道路整備に多額の経費が必要か。それに対し、小商工業者の苦勞が分かっていない。市として応援して欲しい。 ⑦ 子育て世代は議会報告会にもなかなか参加できない。議会として子育てのことも聞く姿勢を持って欲しい。 ⑧ 高齢者優待乗車制度で助かっているが、乗り継ぎするとその都度運賃を払わねばならない。考えて欲しい。 ⑨ パートナーズにしても特区にしても市民に情報が伝わってこない。議員は行政の中身を市民に伝える、追求することをしてもらいたい。特区については、議会で独自で特別委員会とかプロジェクトチームを作って情報収集をする作業は必要である。	⑥ 貴重な観光資源であり、必要な事業を進めている。委員会より整備内容についての効果検証と内容自体についても慎重に再検討すべきという報告書を出している。 ⑦ 国も子育て支援法を制定し、市も子育て条例を今年度に制定する。議会として意見を聞く機会は必要と考えている。 ⑧ 乗り継ぎかどうかなどを確認することが難しいというのが市の考えである。今後市民要望に応えられるように取上げたい。 ⑨ 特区についての議会对応について貴重な意見をいただいた。報告会で市民から議会に対し強い意見があったことを受け止めてしっかり対応したい。
その他（提言など）	① 参加者から以下の資料提出があった。 1 公民館図書室配置の資料・ファイル整理について。 2 高齢者への情報発信方式について。 3 公民館図書室の機能活用促進について。 市の行政情報の発信について、市民との情報の共有、市民の便宜のために情報を提供するという意識が希薄である。また、近隣市町の施策例を参考に市の公民館図書室について機能向上のための整備を促進すべき、という趣旨であった。	
備考（今後の改善点等）		
なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 26 年 5 月 30 日

報告者 3 班 班長 深 澤 巧

